恵みと真理のニュース



2017 年 10 月の一次 恵みと真理教会 韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / 2582-31-443-3731 / www.gntc.net



[証]

私の罪を赦してくださり、永遠な命を下さった神様、主の中で真の幸せを享受するように今まで導いてくださったエベン. エゼルの神様を賛美します

私は1998年イエス様を受け入れ信仰生活を始めました。その前は伝道者が伝える福音を絶対に排斥しました。伝道者が伝える聖書の御言葉が耳に入らなくて天国と地獄に関する話が信じられませんでした。しかし、青年のごろ職場生活をしながら上司との闘いが出来て葛藤が深くなって自ら解決が出来なくなり、生きる人生に深い懐疑を抱いたある日、自分も知らずに行ったところが教会でした。その時は知らなかったですが、振り返ってみると伝道者たちが伝えてくれた福音が信仰の種になって私の心の中で芽生えたようです。電気が消えた礼拝室に入って後ろの席で座って顔を伏せていました。あちこちで祈る声が聞こえました。その時、隣の席に座って祈っていた方が私の手を掴んで続けて祈りました。すると私の体が温かくなり心も温かくなるようでした。

どのように祈るのかわからなくて私は心で私の苦痛を神様に訴えました。ひとしきりそのように祈ってから教会を出たら心の深いところで自分も知らずに奇異な平安が望みました。いつか機会があれば教会に通うと思いました。その時から区域長と聖徒達が明るい表情で挨拶をして伝道する姿が良く見えました。

結婚して幼い子供達を育ってる時、アンヤンに住んでいる旦那の姉が先にイエス様を信じて区域長になって恵みと真理教会を 仕えながら私を伝道しました。随時に電話をして家まで来て福 音を伝えました。会うたびにイエス様と教会を誇りました。そ うしながら、私の家族に祝福する祈りをたくさんしてください ました。愛と関心を持って私達を守ってくださいました。それ で、私は夫の姉を見るたびに本当にありがたくて、"イエス様を 信じる方はさすが違うな"と思いました。いつも笑顔で明るく て活発な姿で熱心に信仰生活をしながら家に問題があっても不 平不満もしなくて兄弟たちと仲良く過ごす姿が尊敬しました。 夫の姉は今も私の信仰生活に多くの助けを与えてくださいます。 夫の姉と恵みと真理教会の助けによってここヤンジュで区域長 に出会い教会に通い始めました。恵みと真理教会の出身の牧師 が開拓して商店建物に聖殿がある教会の区域長でした。区域長 がよく導いてくださって聖霊様の助けでイエスキリストを受け 入れ熱心に信じ仕える生活を長く続けることが出来ました。そ の後、2年が過ぎて新しい聖殿の入党礼拝を捧げる時、チョウヨ ンモク牧師が来られ説教し聖徒達を祝福してくださいました。 その日、牧師の説教の御言葉を直接に聞いて大きい恵みと感動 を受けました。その後、説教を聴き聖書の御言葉を悟る楽しさ を知り、時間が経つほど教会に行って礼拝を捧げるのが生活に 一番楽しさになりました。モデルになる区域長の真実な信仰と 穏和で愛で満たされた姿を似たい心と願いを持って教会で熱心 に奉仕しました。

結婚して子供を出産した後、後遺症があったのか体が弱くなってよく腰が痛くて働くとすぐ倒れて終えるのが大変な時がありました。病院に行っても治らなかったです。ところが礼拝の時間たびに恵みを求めて切に神様に祈ったら私も知らない瞬間治療され健康が回復しました。主のラパの神様が治療してくださいました

2001年に区域長の職分を受けました。足りなくて弱い私に尊い職分を下さった神様の恵みに感謝して従順し力を尽くして奉仕しました。どころが2003年の春に神様の摂理で教会が恵みと真理教会の聖殿になり教会がリバイバルされ次の2004年から教会学校の教師としても献身するようになりました。神様の呼ばれの良い教師になるためもっと祈らなければならなかったです。もっと聖書勉強をしなければならなかったし、教会の外でも聖

徒のモデルになるべきでした。そのように努力する中で共におられる神様の恵みをたくさん体験して私の信仰が成長しました。 区域長と教師の職分を受けて奉仕しながら主の事に力をつくしたら旦那との葛藤もありましたが、落胆しなくて祈りながらもっと奉仕すると神様が旦那の心を変えてくださり、楽な心で奉仕することが出来ました。娘の就職のため捧げた祈りも答えてくださり、良い職場に入って働くように摂理してくださいました。そのほかにも熱心に奉仕して祈る生活を通して祈って答えられる楽しむも享受することが出来ました。

2012年冬から神様の恵みの中で大きくて美しい新しい聖殿で喜びと感謝で礼拝を捧げ主を仕えるようになりました。教会で奉仕する楽しさと集まって共に祈って伝道する楽しさで満たされました。伝道の実りを結ぶたびに話せられない喜びと感謝の心で神様に栄光を捧げました。

イエスキリストを信じ今日このような神霊な幸せを享受するようになさった神様を賛美します。異端が酷いこの時代に御言葉と聖霊で充満な教会で正しく信仰生活をするように導いてくださった神様に感謝します。当会長の牧師の説教と教えを受けて聖書の通り主を愛するように導いてくださった神様の恵みに感謝捧げます。主の前で立つ日主から受ける賞を期待しながら一人の魂を尊く扱う主の心で熱心に福音を伝え、主の事に力を尽くして生きます。

ハレルヤ! 今、わたしは聖所であなたを仰ぎ望み/あなたの力と栄えを見ています。 あなたの慈しみは命にもまさる恵み。わたしの唇はあなたをほめたたえます。 命のある限り、あなたをたたえ/手を高く上げ、御名によって祈ります。 (詩編3:3~5) 主よ、わたしたちを御心に留め/祝福してください。イスラエルの家を祝福し/アロンの家を祝福してください。 主を畏れる人を祝福し/大きな人も小さな人も祝福してください。 (詩編15:12~13)



[信仰コラム] 富まれて豊かになるのを願うならこのようにしなさい

"...神はあなたがたにあらゆる恵みを豊かに与え、あなたがたを常にすべてのことに満ち足らせ、すべての良いわざに富ませる力のあるかたなのである。"(コリントの信徒への第二の手紙 9:6~8)

神様は聖徒達が富まれて豊かな生活をするのを願っております。主イエスが "わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。"と言われました。富まれて豊かになる原理が聖書に掲示されています

第一は、神様に求める原理です。

神様に求めないのが困難と欠乏の原因の中で一つです。 神様が私達の求めをお聞きなさい私達の必要を豊かに 満たしてくださいます。その実際の例が聖書に多く記 録されています。ヤコブは憤って殺気立った兄エサウ から離れて空手で逃避の道にのぼった時、今後の生計 のため神様に誓いながら求めました。神様が彼のお祈 りに応答なさいました。空手で離れたヤコブが数多く の獣の群れと奴隷を率いる巨富になり故郷に帰らせた 神様は今日も私達が誓いながらお祈りするのをお聞き なさり求めることにより溢れるほど与えてくださいま す。

第二は、隣人に施して神様に捧げる原理です。広野である子供が提供した大麦のパン5つと、魚 2 匹をイエス様に差し上げたら数多くの群れが食べて残りました。

"与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。 人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量を よくして、あなたがたのふところに入れてくれるであ ろう。"と言われた御言葉通りになりました。ピリピ 教人達は教会を設立したパウロの宣教活動を初期から 後援し、彼がローマの獄中にいた時にはエパフロデト を派遣して近くで手伝うようにしました。このように 主の事のために励んで捧げたピリピ教人に向いて神様 はパウロを通じて祝福するようなさいました。

第三は、まず神の国と神の義とを求める原理です。 聖徒達の衣食住問題は神様の事だとしました。衣食住の問題に対して無関心で何事もしてはならないという意味ではなく、心配してはならないという意味です。心配は神様の権能と善に対する信仰の不足によるのです。私達のすべきことはまず神様の国と神様の義を求めることだとしました。全てのことを神様第一、神様中心、神様優先に考えて計画し働きなさいという意味です。そうすると"すべて添えて与えられるであろう。"という御言葉と同じです。

第四は、物事に神様に感謝して神様を喜ぶ原理です。 万が一、イスラエルの子孫が広野を行進する間、物事 に感謝したらどうなったかを考えてみてください。そ して神様を喜びなさいという御言葉は喜びの最も大き い原因が神様であるようにしなさいという意味があり ます。この世の他の事事私達が喜ぶ第 2, 第 3 の理由に該当します。また、神様を賛美しなさいという意味があります。ユダヤ国が連合軍の侵攻に直面して王田の運命が風前の灯火のようになった時、ヨシャパテ王は聖歌隊を組織して軍隊の前で賛美しながら進ませると敵軍が互いに戦い全滅し、ユダヤの民産があるのを願うならば聖書に啓示された原理を積極てよるのを願うならば聖書に啓示された原理を積極てよるのを願うならば聖書に啓示された原理を積極てよるのを願うならばむい。神様に誓いながら求めてください。すずはでいる隣人に施して神様に捧げてください。まずは様の国と神様の義を求めてください。神様に感謝しなら神様を喜んでください。そうして全てのことが満ちら神様を喜んでください。そうして全てのことが満ちら神様を喜んでください。まずはながら神様を喜んでください。まずはながら神様を喜んでください。まずはながら神様を喜んでください。まずはながら神様を喜んでください。まずはないになるようれるほど行う皆さんになるようれるようではないます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム '緑の牧場、清い川'本の語り中」

恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

聖書に啓示された救いの福音は、単純で明瞭です。「誰でもイエス・キリストを信じるイエスを得ます。」これが福音の核心です。イエでもイエスが福音の核心です。イエではいかっていることがです。「神の御旨であるいる福音を聞いて、ある人はであるはです。その理由はにであるはでであるはにです。認めるかにかかにかかっています。

神の主権とのよう。 を素じるさいののでは、 は記してをしますのでは、 を素じるでは、 のでいるでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ののでは、 ののででは、 ののででいて、 をにまする。 ののででいて、 をいてて、 ののでのでいて、 をいて、 ののでのでのでいて、 をいて、 ののでのでいて、 ののでのでいて、 をいて、 ののでのでいて、 ののでいて、 ののでのでいて、 ののでいて、 のいて、 のいで、 のいで

誰でも神の前で高慢な自我が砕かれ、子供のよ うになる必要があります。ある時イエス様が子 供を呼んで、弟子たちの中に立たせてから言わ れました。 "「よく聞きなさい。心をいれか えて幼な子のようにならなければ、天国にはい ることはできないであろう。この幼な子のよう に自分を低くする者が、天国でいちばん偉いの である。 」(マタイによる福音書, 18: 3,4)。イエス様が子供のようになれたのは、 親に徹底的に依存していると、親の言葉をその まま信じるの特性を残していただいたものと同 じに神様に徹底的に依存して、神の言葉を徹底 的に信じるということです。ところが、 言葉 は簡単ですが、実際にはそのようにするのは易 しいくありません。それほどに自我が 砕かれ なければなりません。言い換えれば魂が変えら れなければなりません。このような体験をした、 聖書の人物は無数にあります。その中でヤコブ が、ヤボク川で経験したケースは非常に劇的で

アブラハムがイサクを生み、イサクはリベカを介して双子のエサウとヤコブを生みました。わずかの差で次男になったヤコブは、長子に非常に大きく、霊的な企業が与えられることを知ました。ヤコブは何とか兄エサウの長子権を自分が持ちたいと思いました。 エサウが狩りして戻ってくる時に空腹している時食べるものを見つけることを狙って赤いかゆをもって待っていました。

これが父の御旨です

絶体絶命の危機に瀕しているヤコブは天使を握り、格闘し、泣きながら祈りました。 彼は天の使と争って勝ち、泣いてこれにあわれみを求めた。彼はベテルで神に出会い、その所で神は彼と語られた。 (ホセア書, 12:4) こうしてヤコブは、神と競って勝った者という意味を持つ、イスラエルという名前を獲得しました。その名の通り、彼の前に迫ってきた問題と危機が瞬時に解決される経験をしました。

聖書を判断して批評しながら、自分が賢いと思う人は、神を知る道がありません。なぜなら、このような者たちには、神が霊的なことを隠しからです。イエス様は続いて言う "すべての事は父からわたしに任せられています。そして、子を知る者は父のほかにはなく、父を知る者は、子と、父をあらわそうとして子が選んだ者とのほかに、だれもありません 」 (マタイによる福音書,11:27)としました。

イエスが処女の体に通じて生まれたのを信じな いて創世記に記録されているの天地創造を信じ ない、聖書に記録された奇跡を信じない理由は、 彼が自分の知恵者と考えるからです。神の前に 高くなったことが下げなければならないです。 神の前に自我が砕かれ、子供のようになると、 聖書を神の言葉と信じます。そして、聖書に啓 示された創造主の神の父を知って救い主イエス を知って助け主の聖霊様を知ることになります。 聖書には、神を、時間と空間を含む万有を超越 して、自ずから唯一の絶対者に明らかにしまし た。すべての被造物は、空間と時間を介しての み存在します。しかし、創造主の神はいつでも とこでもおられながら、すべてを超越していま す。聖書は神の啓示と感動で記録された本がな ければ、このような表現で記録されることがな かったでしょう。

したがって、子供のように単純に神の言葉を信頼する人は天地万物が神の創造のゆえに存在するようになったことを疑わない。創造主を信じる信仰の中ですべてのものを見つめてみるとが神の知恵と能力に感嘆と感謝を禁じることができなくなります。神が創造された万物は、神の知恵と力と栄光を示しています。詩人は歌うを「もろもろの天は神の栄光をあらわし、大空はみ手のわざをしめす。」としました。

イエス・キリストを信じることに関連して人を 5 部類に分けることができます。

皆さんが神様のお言葉の中に信じられなに砕かれない言葉の中に信じられなに砕かれないまたの前ですのです。神様のおおれて覚まれるではないです。と喜かいです。とううにほりないです。とううれてはいいです。とってほしいです。といいです。